

魅力ある係活動の指導のポイント

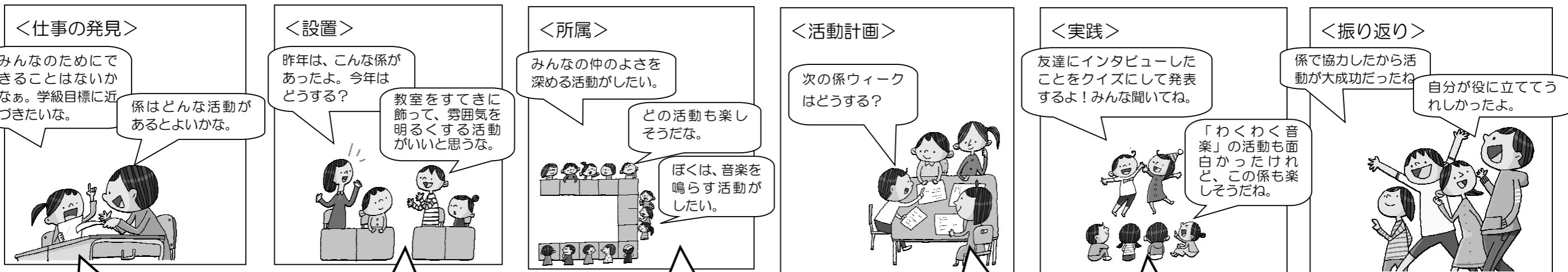
1 係活動のある場面で・・・

係活動を活発に行うことができるクラスにしたいと考え、新年度がスタート!!そんな時に、多くの先生方がこんな悩みをもったことがあるのではないのでしょうか。



こんなこと、ありません??

2 具体的な活動例と指導のポイント 活動名「係の友達と協力して係ウィークを成功させよう」



ポイント！係をつくる

☆他の学級を参考に・・・となりの学級はどんな係があるのかな？兄弟学年にインタビューに行ってみるとよい。

☆子どもが改善したいと思うことを係に・・・「クラスみんながもっと本を読むといいね」→「わくわく本しょうかい係」（その名の通り、おもしろそうな本を紹介する係です。）

☆委員会活動を参考に・・・どんな係が必要かな？と悩んだら、学校の委員会活動を学級版にするとよいです。「集会委員会」→「ミニ集会係」

ちょっとまって！係設置のチャンスを見逃していませんか？

★子どもが必要と思う係をつくるためには、子どものつばやきを拾うこと！拾うためには、子どもと触れ合う時間をつくること。

○給食では、各グループを回り子どもと一緒に食べる。

○中休みなどに（ときどきでもよいので）一緒に遊ぶ。

○一言日記のやりとりをする。

○日常の何気ない場面に、係活動につながるヒントがある。そのチャンスを見逃さないことが大切！

ポイント！係のネーミング

☆学級目標とリンクして・・・「〇〇わくわくミュージック係」（〇〇は学級目標のキーワード）

☆係の目標をそのまま・・・「みんななかよしあそび係」「毎日笑えるおわらい係」

☆レベルアップが伝わるように・・・「にこにこニュース：シーズン2」

ちょっとまって！こんなネーミング

★「〇〇株式会社」・・・役割分担に「社長」「副社長」などの役職名がついていませんか？

○上下関係をつくってしまうことにつながってしまうかも・・・

★「体育係」・・・教科の係のような印象です。内容も用具の準備や体操の指揮など、先生の手伝いの仕事になってしまいませんか？

ポイント！係の決め方

☆子どもの思いを大切に・・・学級を楽しく盛り上げていきたいという願いや思いを生かすためにも、希望を優先。

☆一つの係の人数は・・・友達とかかわり合えるようにするために3人以上。これなら1人休んでも活動可能。

ちょっとまって！こんな決め方

せっかく思いがあるのに、じゃんけんで決めたりしていませんか？

★男女が偏ってしまう・・・クラスの人間関係が偏ってしまう心配が。でも、子どもの思いを生かした係にしたい。

○係同士で協力するシステムをつくり、みんなが協力し合えるようにする。

★子どもの希望が偏ってしまう・・・

○もう一度係の仕事内容を整理し、一つの係を複数に分ける。

ポイント！係の計画書

☆見通しをもつために・・・いつだれが何をやるか、具体的な1週間の計画を立てる。

☆次に生かすために・・・振り返りの時間をとり、よかった点や課題を記録しておく。

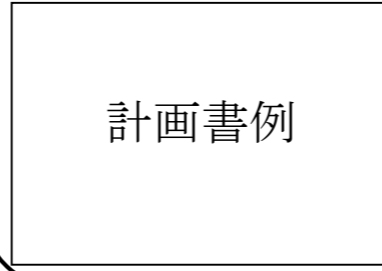
☆みんなに知らせるために・・・計画書を掲示して、みんなが見ることができるようにする。

ちょっとまって！計画通りにいかず悩んでいませんか？

★計画通りにはいかないということは、子どもたちにとって無理があるということ。

○朝の会や帰りの会、学級活動の一部の時間をとって係活動の時間を確保する。

○活動したらシールを貼るなど、視覚的に活動したことが見えるようにして意欲をもつことができるようにする。



ポイント！活動環境を整える

★係のめあてに向かって、友達と相談しながら一緒に取り組み、継続的な実践を可能にする環境を整えます。

【継続的な実践とは？】

○係活動に必要な用具を係ごとに準備。場の設置など。

○係活動やアイデアコーナー、掲示・展示コーナーなどの設置。

○計画書や企画書を見ながら、進度が分かるよう可視化する。（終了したらシールを貼るなど）

○朝の会や帰りの会などを活用し、自分たちの活動状況を学級のみんなに伝える。

○係で困ったときは、他の係と相談したり、一緒に活動したりして活動内容を広げていく。

ポイント！

互いのよさを感じられる振り返り

★係の中で互いに認め合い、自分の頑張りが友達にも十分に感じられるよう、教師は活動の中で認め合う視点を具体的に提示し、学級全体で共有できるように支援します。

【振り返りって、どのように行うの？】

○友達の頑張りととはどういうものなのか具体的に想起して振り返りができるよう、教師は係活動で見つけた協力や振り返りカードを紹介する。（称賛・価値付け）

○振り返りカードを活動終了まで継続する。（自分または友達の頑張りなど視点を決める）

○友達のよさを書いたカードであれば、友達に直接手渡したり、声をかけたりする。

○書きためたり、友達からもらったカードを掲示したりする。

（例）花びらカード→花の形に

3 まとめ

係活動は、学級生活をより楽しく豊かにするために必要不可欠な活動です。子どもが意欲をもって、主体的に活動に取り組むために「魅力ある係活動づくりのポイント」を生かしていきましょう。

【魅力ある係活動づくりのポイント】

- 〈仕事の発見〉・・・委員会を参考に係を考える。
他のクラスを参考にする。
学級をよりよくするために必要だと思うことを係にする。
- 〈設置〉・・・・・・・・係のネーミングを工夫する。
- 〈所属〉・・・・・・・・希望を優先して係を決める。
一つの係の人数を3人以上にする。
- 〈活動計画〉・・・・・・・・係の活動計画書を作成して、見通しをもって活動する。
- 〈実践〉・・・・・・・・係ですぐに使える係掲示板や係コーナーを作る。
係の活動状況を全体で共有できるような場を設定する。
- 〈振り返り〉・・・・・・・・振り返りカードを活用する。
互いの活動のよさを認め合うために、カードを渡したり、声をかけたりする場をつくる。

このような活動の場面ごとに、係活動を活性化させるポイントがあります。教師は、発達段階や学級の実態、活動を通して子どもに付けたい力などを考えて、どのポイントを生かして活動づくりをするか考えることが大切です。また、今日紹介した活動づくりのポイント以外にも、魅力ある係活動にしていくための手立てが多くあると思います。今年度の実践を通して、より多くの魅力ある活動づくりのポイントを見つけていきましょう。

4 グループディスカッションについて

①今年度、取り組んでみたい係を生かした活動や係活動での悩みを短冊に書いてください。

青・・・今年度取り組んでみたい係を生かした活動

赤・・・係活動をする上での悩み

②今日の課題別研修の話聞いて、短冊に書かれた活動や悩みについて、これからどうしていきたいか、グループで話し合ってください。

※司会と発表者を決めてください。

③各グループからの報告